様式　２－１

**デジタル・イノベーション創出補助金**

**事業計画書**

**【事業名、等】**

|  |  |
| --- | --- |
| 申請者企業名 |  |
| 事業の名称 | （50文字以内：様式１の記載内容と合せること） |
| 事業の申請区分(いずれか１つを選択) | □ | ビジネス設計枠　（★１へお進みください） |
| □ | デジタル・イノベーション枠　（★２へお進みください） |
| ★1ビジネス設計枠で申請される方 | 以下の事項について、ご確認の上、必ずチェックをお願いします。 |
| □ | プロジェクト・サポーターによる伴走支援を受けることに同意します （※ビジネス設計枠は必須） |
| □ | 伴走支援の実施に伴い、当初予定していた事業内容に一部変更が生じる可能性があることを承諾します |
| ★2デジタル・イノベーション枠で申請される方 | 以下のいずれかにチェックを入れてください。 |
| □ | プロジェクト・サポーターによる伴走支援を希望します |
| □ | プロジェクト・サポーターによる伴走支援を希望しない |
| 事業の着手及び完了期日 | （様式１の記載内容と合せること）（着手）　　　年　　月　　日～（完了）　　　年　　月　　日 |
| 補助対象事業の経費合計－① | （税抜額で記載すること）円 | 補助金申請額（左記①の2/3位内） | （税抜額で記載すること）円 |

（注：この様式により難いときは、この様式に準じた別の様式を使用することができます。）

（注：①～⑨の各項目については、必要に応じて、全体概要を把握できる構成図や写真、表などを使用して、わかりやすく記述ください。）

1. 申請者の事業概要・業界動向等を記載してください。
2. この事業で取り組む、先端技術を活用し開発する新ビジネス（製品やサービス）を投入する分野・業界（業種及び業態）と、その分野・業界における現状と課題を記載してください。
3. この事業で取り組む内容を記載してください。

・先端技術を活用し開発する新ビジネスを行う目的・狙い、対象となる事業の内容、新ビジネスのポイントなど。

1. この事業において活用する先端技術の内容を記載してください。

・本事業を実施する上で、どのように先端技術を活用するのか具体的な方法を記載してください。

1. 本補助事業を確実に遂行するための体制を記載してください。

・想定している実施体制や作業従事者数、経営層による事業実施許可の有無、活用できる経営資源（人的ネットワーク・情報・資金その他）、マイルストーンなど

1. 本事業の実施により、新ビジネスを投入する分野・業界で起こりうる変化を（今後の発展性、将来的な収益性、地域経済や業種業界へもたらす影響等にも触れつつ、定量的な数値と併せて）記載してくだい。
2. 本事業の実施により、申請者自身が得られるメリット（売上の増加、市場シェアの拡大、競争優位性の確立、人材育成など）を記載してください。
3. 補助対象事業実施以降のロードマップを記載してください。

・ビジネス設計枠での採択を希望する場合は、補助対象事業実施後～開発・販売開始までに取り組む具体的な計画、開発・販売開始の時期（例：○年×月頃）を必ず記載してください。

・デジタル・イノベーション枠での採択を希望する場合は、開発後の具体的な販売先、市場展開の方法、補助対象事業完了後３年間における単年度ごとの売上目標を必ず記載してください。

・今年度の事業実施期間内におけるスケジュールは様式２－３を使用のこと。

1. （「プロジェクト・サポーターによる伴走支援を希望する」を選択した者のみ要回答）

プロジェクト・サポーターに相談を予定している事項や、支援を希望する事項について記載してください。